



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹澤 正 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	75,638	3.5	4,447	40.4	4,474	42.1	2,943	44.0
2020年3月期第3四半期	73,061	△18.4	3,167	△24.1	3,148	△24.6	2,043	△28.6

(注) 包括利益2021年3月期第3四半期 5,042百万円 (130.8%) 2020年3月期第3四半期 2,184百万円 (87.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 44.97	円 銭 44.96
2020年3月期第3四半期	33.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第3四半期	百万円 142,078	百万円 93,485	% 65.7
2020年3月期	136,059	82,465	60.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 93,379百万円 2020年3月期 82,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 18.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	3.3	6,500	24.3	6,520	21.3	4,310	16.8	65.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	67,909,449株	2020年3月期	67,909,449株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,305,096株	2020年3月期	5,630,407株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	65,457,380株	2020年3月期3Q	61,927,058株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2021年2月12日に機関投資家・アナリスト向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
〔生産、受注及び販売の状況〕	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中通商問題の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の長期化による影響はあったものの、輸出や生産活動は持ち直し、景気は緩やかながらも回復基調となりました。

設備投資は、企業収益の悪化や先行きの不透明感から延期や中止の動きが継続して見られました。そのような中、電子産業においては、5GやIoT向けなど情報通信技術の用途の拡がりを背景とした投資が行われ、底堅く推移しました。

海外経済は、米国では感染再拡大による活動規制の強化により雇用と消費の回復は鈍化したものの、製造業は持ち直しの動きが持続しました。また、中国では製造業全般で生産活動の正常化が進み、5G関連や二次電池などの設備投資が積極的に行われました。一方、東南アジアは、感染対策を打ち出しながら経済活動は再開されましたが、その回復は緩やかなペースに留まりました。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高75,638百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益4,447百万円（前年同四半期比40.4%増）、経常利益4,474百万円（前年同四半期比42.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,943百万円（前年同四半期比44.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

産業機械では、リチウムイオン電池製造システムの売上高は増加したものの、三次元はんだ印刷検査機の売上高は減少いたしました。また、自動包装システムは、売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は10,441百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益はセールスマックスの変化や新たな中国市場向け装置の開発費増加などにより、1,123百万円（前年同四半期比44.6%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、5Gの普及にテレワーク関連の需要が重なり、設備投資が拡大した半導体製造装置向け売上高は増加いたしました。一方、自動車の製造設備向けや工作機械向けの売上高は、一部で需要の回復がみられましたが、それぞれ減少いたしました。

海外市場では、製造業全般で生産活動の正常化が進んだ中国や半導体設備投資が底堅く推移した韓国や台湾などで売上高が増加いたしました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により東南アジアの売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は65,196百万円（前年同四半期比4.8%増）、セグメント利益は生産性改善や経費削減の効果により、6,272百万円（前年同四半期比53.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,019百万円増加の142,078百万円となりました。これは主に、売上債権、有形固定資産及び繰延税金資産が減少したものの、現金及び預金並びに投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,001百万円減少の48,592百万円となりました。これは主に、前受金、預り金及び賞与引当金が増加したものの、仕入債務、借入金、未払賞与及び未払消費税等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11,020百万円増加の93,485百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ5.2ポイント増加の65.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期に入り、当社を取り巻く市場環境は、電子産業における投資が好調に推移するとともに、中国など東アジアで設備投資が底堅く続いたことにより、機器事業において想定より強い回復がみられます。また、製造業は自動化・省人化需要の高まりなどを背景に回復基調にあり、需要動向は、第2四半期を底に着実に上向いていると判断しております。

しかしながら、第3波と言われる感染再拡大の中で、依然として本格的に景気が回復するには時間がかかる状況となっており、自動機械の据え付け工事遅延なども懸念されます。引き続き、徹底した経費削減と生産性向上に取り組む、収益性のさらなる改善に努めてまいります。

これらを踏まえ、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました数値を以下のとおり上方修正いたします。

ただし、当予想は、現在の感染状況が緩やかに改善されることを前提としており、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、すみやかに業績への影響をお知らせいたします。

なお、為替レートは、1米ドル105円を前提としています。

2021年3月期 通期 連結業績予想数値の修正
(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 100,000	百万円 4,900	百万円 4,960	百万円 3,440
今回修正予想 (B)	104,000	6,500	6,520	4,310
増減額 (B - A)	4,000	1,600	1,560	870
増減率 (%)	4.0	32.7	31.5	25.3
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	100,717	5,230	5,374	3,689

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日(2021年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,987	27,929
受取手形及び売掛金	24,777	22,053
電子記録債権	4,031	4,906
営業未収入金	215	203
商品及び製品	9,652	10,987
仕掛品	5,132	3,763
原材料及び貯蔵品	21,190	21,349
その他	1,456	1,162
貸倒引当金	△22	△61
流動資産合計	85,420	92,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,793	19,338
その他(純額)	20,439	19,312
有形固定資産合計	40,232	38,651
無形固定資産	1,869	1,517
投資その他の資産	8,537	9,614
固定資産合計	50,639	49,783
資産合計	136,059	142,078
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,994	11,803
電子記録債務	2,369	2,213
短期借入金	9,651	9,679
1年内償還予定の社債	129	31
未払法人税等	1,199	424
賞与引当金	279	1,327
その他の引当金	469	459
その他	10,666	8,779
流動負債合計	37,760	34,718
固定負債		
社債	16	—
長期借入金	13,270	10,928
その他の引当金	65	10
退職給付に係る負債	414	428
その他	2,067	2,505
固定負債合計	15,833	13,874
負債合計	53,594	48,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,017	16,380
利益剰余金	61,992	63,591
自己株式	△3,952	△916
株主資本合計	81,074	90,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,898	3,290
為替換算調整勘定	206	766
退職給付に係る調整累計額	△891	△749
その他の包括利益累計額合計	1,213	3,307
新株予約権	71	—
非支配株主持分	105	106
純資産合計	82,465	93,485
負債純資産合計	136,059	142,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	73,061	75,638
売上原価	54,349	55,541
売上総利益	18,711	20,096
販売費及び一般管理費	15,543	15,648
営業利益	3,167	4,447
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	140	118
補助金収入	37	143
その他	277	275
営業外収益合計	468	550
営業外費用		
支払利息	168	153
売上割引	113	101
持分法による投資損失	2	0
デリバティブ評価損	13	—
為替差損	98	146
その他	91	121
営業外費用合計	487	523
経常利益	3,148	4,474
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	9	—
補助金収入	32	525
環境対策引当金戻入額	10	—
特別利益合計	56	526
特別損失		
固定資産売却損	1	—
減損損失	130	—
固定資産除却損	34	28
固定資産圧縮損	32	505
投資有価証券評価損	—	1
環境対策引当金繰入額	—	15
特別損失合計	199	550
税金等調整前四半期純利益	3,005	4,450
法人税、住民税及び事業税	566	1,033
法人税等調整額	391	474
法人税等合計	957	1,508
四半期純利益	2,048	2,942
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,043	2,943

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,048	2,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	504	1,391
為替換算調整勘定	△559	566
退職給付に係る調整額	192	141
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	136	2,099
四半期包括利益	2,184	5,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,184	5,036
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,831	62,229	73,061	—	73,061
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	114	114	△114	—
計	10,831	62,343	73,175	△114	73,061
セグメント利益	2,026	4,076	6,102	△2,934	3,167

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,934百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,958百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動機械部門」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に無形固定資産の減損損失130百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,441	65,196	75,638	—	75,638
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	53	53	△53	—
計	10,441	65,250	75,691	△53	75,638
セグメント利益	1,123	6,272	7,395	△2,948	4,447

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,948百万円には、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,970百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	13,733	+3.0
機器部門	66,169	+8.8
合計	79,903	+7.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	9,463	△26.7	12,077	△16.5

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	10,441	△3.6
機器部門	65,196	+4.8
合計	75,638	+3.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。